

議員全員協議会会議録	
1 開会日	平成25年12月16日 午後 1時30分 開会 午後 2時51分 閉会
2 場 所	第1委員会室
3 出席議員	奥津勝子 二宮加寿子 高橋英俊 渡辺順子 坂田よう子 片野哲生 吉川重雄 高橋富美子 竹内恵美子 三澤龍夫 関 威國 鈴木京子 清水弘子
4 説明員	町側出席者 中崎町長 栗原副町長 依田教育長 和田参事（危機管理対策担当） 池田危機管理対策室副室長 二挺木政策総務部長 福島教育部長 大槻総務課長 小林副主幹兼総務法制係長 加藤財政課長 曾根田財政係長
5 職務のため出席した職員	局 長 飯田 隆 書 記 増尾克治
6 協議等の事項	(1) 議会報告会の結果に基づく今後の対応等について (2) その他
7 その他	一般傍聴 なし

(1) 町長あいさつ

次の2件について、お知らせを受けた。

①心肺蘇生訓練キットの寄附について

11月19日に大磯ロータリークラブから、心肺蘇生訓練キットを大磯中学校及び国府中学校に各40セット寄附いただいた。

本日、国府中学校2年生を対象として、心肺蘇生、AEDを学ぶ授業を実施した。今後、大磯中学校も含め保健体育の学習で有効に使用していきたい。

◎主な質疑

問： 消防にAEDの使い方や心肺蘇生の方法の講習を願うと、全部で3時間かかるが、中学生にはどのぐらいの時間を取ってやったのか。

答： 授業の一環として行っている。できるだけ多くの生徒に学習してもらえよう、訓練をお願いしている。

②大磯駅前用地利活用検討委員会の開催について

11月6日で土地利用のゾーニングについて答申をいただいた。12月20日に第4回目の検討委員会を開催し、活用方法等の検討を行っていく予定である。

③その他

12月30日に歳末火災特別警戒の一環として、特別巡視を行う。

新春恒例の行事として、賀詞交換会、消防出初式、成人式、左義長、大磯一周駅伝大会を行っていく。

(2) 町報告事項

①津波避難タワーの整備について

神奈川県が設置する津波避難タワーの整備について、進捗状況の説明があった。

設置箇所は、海水浴場を含む大磯港周辺区域のうち、利用状況や各施設からの避難時間を検証し5カ所が選定され、最終的には、海水浴場西側のD案となった。

タワーの形状は、町から常時利用可能な施設として欲しいと要望を行い、イベント等でステージとしても活用できる長方形の避難施設で、砂浜の中央付近に設置される。

避難対象人数は100名、タワーの面積は上部の避難スペースで幅5m、長さ12mで60㎡となり、備品類の設置場所を考慮し、有効面積50㎡が確保されている。避難スペースの高さは設置場所で想定される浸水深に余裕高4mを考慮して設定されており、地盤高に浸水深と余裕高を加え、海拔9.3mとなる。

設置向きは、大磯港の東側堤防に沿って東西に5m、南北に12mの長方形、砂浜から避難スペースまでの高さは約6mである。

スケジュールとしては、8月に示した当初計画より若干遅れているが、現在詳細設計が進められ、1月から発注準備、4月に施設の建設に着手、6月中の完成を予定している。

工事を担当する平塚土木事務所とは、危機管理対策室に必要な応じて建設課や産業観光課を加え、打ち合わせを行っている。また、みなとまちづくり協議会役員会との意見交換会を行い、全体会の中で関係団体との意見集約を図っている。

◎主な質疑

問： 津波は堤防の上ののって来るため、避難タワーの高さは安全か。

答： 台風の際の波浪とは異なり、津波はじわじわと高さが上がり、時間をかけて下がるというものである。この場所での想定される津波の高さが5.3m、最大の余裕高4mを取っており、県では概ね安全と確認している。

問： すでに藤沢市で津波避難タワーを設置しているが、大磯のものはほぼ同じ高さで作られるのか。

答： 藤沢のものは県内で1基目であり、余裕高は2mで設置された。大磯としては、最大の4mを要望した。

問： 常に設置されているものになるが、日常の管理はどのように行うのか。

答： 通常、17時までの間は常時開放、17時以降夜間は閉鎖していく。大磯港湾区域は町が指定管理者であるため、町が管理をしていく。

問： 子ども達がのぼったりし、事故などが起きる想定をしているか。

答： 常時開放のお願いと共に、構造に危険がないよう配慮を求めている。県は国等の指針に基づき、手摺の高さや階段の幅など、安全対策を講じられると思われる。

問： 図面を見ると、1階の天井があるように見えるが。

答： 天井のように見えるものは梁であり、中間部分に階はなく、1番上の柵がある部分にのみ、避難できるスペースがある。

問： 津波の監視モニターが付いているが、警報などとの連動はどうなっているか。

答： 海水浴場の東に電光掲示板があり、その部分にカメラが付いている。カメラは海側を撮影してインターネットなどで映像を見ることが出来る。電光掲示板は無線装置で県とつながっており、緊急時の津波警報などでは信号が流れ、電光掲示板に表示されるつくりとなっている。

問： 以前、大磯港にいる人たちの避難場所として、西湘バイパスの上に登っていける階段があると聞いたが、検討状況は。

答： 8月の全協で説明した内容である。管理する国土交通省に町から投げかけをしている。国として実現の可能性を上部の機関と調整していると聞いている。引き続き、町は要望していく。

要望： 柱の下の部分分かる図面があったら、見せて欲しい。

答： 最終的な図面ができたなら、町も入手していきたいと考えている。

②義務付け・枠付けの見直しに係る条例の制定等について

国の「義務付け・枠付け」の見直しにより、これまで法令等で定められていた基準等を町の条例で定める必要が出てきた。

平成26年3月定例会において、「(仮称)大磯町消防長及び消防署長の資格を定める条例」及び「大磯町社会教育委員の定数及び任期に関する条例の一部を改正する条例」を提案していく考えであり、については、1月中旬に各常任委員会協議会の開催をお願いし、説明をしていきたい。

なお、介護保険法の改正に伴う条例の制定については、平成26年度中に進めていく予定であり、3月定例会には提案していかない。

③平成26年度当初予算編成状況について

資料に基づき、平成26年度当初予算編成について、12月13日現在における状況の説明があった。

なお、火葬料補助金については、これまでに開催された福祉文教常任委員会協議会及び議員全員協議会において説明をしてきたとおり、段階的に引き下げを行っていく。町民への周知が必要であるため、平成26年度予算審議前ではあるが、広報等で周知を行っていく旨の説明があった。

◎主な質疑

問： 資料において、25年度の部分に記載されている数字は、当初予算の数字か。

答： 当初予算の数字である。

問： 「一般会計予算編成状況一覧」の資料が、例年提出されているものと違うように思うが。

答： 現在は査定中のため、金額が入っていない。1月上旬ぐらいに数字が固まる予定のため、金額が入ったものを1月の全協等で配布できる見込みである。

④その他

依田教育長から12月31日をもって辞職することの挨拶があった。

(3) 各委員会等の行事報告・予定について

「各委員会等の行事報告・行事予定」の配布により説明は省略。

(4) 報告事項

①委員長等からの報告

○12/10 議会運営委員会の概要・・・吉川委員長

○総務建設常任委員会の概要・・・渡辺委員長

12/4 (委員会)、12/12 (委員会勉強会)

○12/5 福祉文教常任委員会の概要・・・高橋(富)委員長

○12/4 議会だより編集委員会の概要・・・坂田委員長

②監査委員からの報告・・・竹内監査委員

③農業委員からの報告・・・二宮委員

④11/21 新湘南国道並びに藤沢大磯線(湘南新道)新設改良促進協議会に係る神奈川県に対する要望活動・・・奥津議長

(5) 協議事項

①議会報告会の結果に基づく今後の対応等について

先月の全協において意見等を分類し、会議録と照合して一覧にまとめたものを確認した。この内容で、町に申し送りをしていく。

また、今後どのように議会報告会を進めていくのか、全協で時間を設けて協議していくこととなった。

(6) 事務局からの報告

①平成 26 年度議会費予算の内示について

先月の全協において議会費の予算要求について説明したが、受けた内示の内容について資料に基づき説明があった。

②視察来庁について

来年 1 月 17 日に京都府精華町議会の広報常任委員会が議会だより等について、1 月 28 日に長野県御代田町議会の議会運営委員会が議会改革等について、1 月 29 日に茨城県行方市議会が議会基本条例の策定経緯・一般会議について視察するために来庁する。

③サンキッズ大磯改築工事の現地確認について

次回の 1 月 10 日に開催予定の全協において、現地確認を予定している。

④その他

・次回の議員全員協議会は、平成 26 年 1 月 10 日(金)午後 1 時 30 分からの予定